

大学名 埼玉大学(人文社会科学研究所・教養学部)

第55号テーマ  
「大学と文化・芸術」



表題 地域の公立芸術文化施設・スポーツ団体との連携



連携先のひとつ：彩の国さいたま芸術劇場

## 特色ある取組

人文社会科学研究所および教養学部では、地域の公立芸術文化施設や、スポーツ団体と連携した教育活動・研究活動・地域貢献活動を展開しています。

連携先：彩の国さいたま芸術劇場(埼玉県芸術文化振興財団)、富士見市民会館キラリふじみ(埼玉県富士見市キラリ財団)、さいたま市文化振興事業団、埼玉県立近代美術館、埼玉県立歴史と民俗の博物館、浦和レッズ、大宮アルディージャ など

### 教育

教育活動では、社会における芸術文化の役割や機能に関する理解を学生が深めることを目的に、「アーツと社会」「ミュージアム・エデュケーション」といった地域連携科目を開講し、劇場や文化会館、美術館といった文化施設の経営や教育普及活動について実務家スタッフを中心に講義してもらっています。さらに、より実践的な知見を得るための「シアター・インターンシップ」や「ミュージアム・インターンシップ」といった、インターンシップ科目を開講しています。

### 研究

研究面からの貢献としては、浦和レッズの協力でおこなった観戦者調査や女性サポーターの交友関係に関する研究、彩の国さいたま芸術劇場の試行評価の実施、埼玉県下の市町村(政令市を除く)では初となる埼玉県富士見市の文化芸術振興条例の制定過程での専門的知見の提供、東京2020参画プログラムである文化庁・公益財団法人さいたま市文化振興事業財団主催の全国文化ボランティア推進フォーラム



2019.3.2 全国文化ボランティア推進フォーラム

### 社会貢献

社会貢献活動としては、埼玉県立歴史と民俗の博物館および埼玉県立美術館との隔年交互の共催で、地域市民のみなさんを対象とした公開講座を毎年開催しています。



↑埼玉大学教養学部・埼玉県立歴史と民俗の博物館 ミュージアム・カレッジ2018

## 取組による成果・評価 など

- ・21世紀に入って間もない時期に、これらの地域連携の取り組みは始まり、地域の芸術文化施設との相互支援関係を持続している。
- ・人文社会科学研究所博士前期課程では、さいたま市や草加市などで芸術文化事業をけん引する役割担っている高度専門職業人を輩出するなどの実績がある。
- ・クリエイティビティや感受性が、日常生活でも技術革新においてもいっそう重要性が増していくと考えられているなか、新しいリベラルアーツ教育としても本取り組みは評価されていくものと思われる。

## 取材対応者(予定)

- ◆ 教員：
  - ・市橋秀夫(教養学部長／人文社会科学研究所教授)
- ◆ 博士前期課程修了生：
  - ・神保富美子(さいたま市文化振興事業団事業課長補佐)
  - ・手塚雪香(草加市文化協会文化事業チーフ)
- ◆ 文化施設：
  - ・前田貴子(埼玉県芸術文化振興財団事業部 主任)

東京2020参画プログラム